

学会賞授賞式および受賞講演

9月8日（土）15:30～17:00

薬学部13号館1311教室 S会場

15:30～16:00 平成19年度 日本植物学会学会賞授賞式

大賞

千原光雄（筑波大学名誉教授）

「藻類の多様性と分類に関する研究」

学術賞

大隅良典（基礎生物学研究所）

「オートファジーの分子機構とその生理的な機能の解析」

奨励賞

今泉(安楽)温子（農業生物資源研）

「根粒菌及び菌根菌の感染受容を司る共通シグナル伝達経路の解析」

上田貴志（東京大・院・理）

「植物における小胞輸送の分子機構と高次機能発現における役割の研究」

澤 進一郎（東京大・院・理）

「シロイヌナズナとイネを用いた空間認識と細胞分化に関する分子機構の解析」

若手奨励賞

門田康弘（理研 植物科学センター 植物免疫研究チーム）

「病害ストレス、活性酸素ストレスに対するタバコ培養細胞 BY-2 の防御反応誘導機構における Ca²⁺シグナル伝達系の役割と細胞周期依存性」

朽名夏磨（東京大・院・新領域）

「顕微鏡画像処理法の新規開発による液胞の立体構造と動態の解析」

西田敬二（立教大・理・極限生命情報研究センター）

「原始紅藻におけるミトコンドリア分裂機構の解析」

特別賞

特別賞 (技術)

東山哲也 (名古屋大・院・理・生命理学)

「植物の受精メカニズムの可視化技術」

特別賞 (教育)

井上 勲 (筑波大・院・生命環境)

「藻類に関する著書とウェブ・コンテンツの作成による教育への貢献」

特別賞 (その他)

国立科学博物館筑波実験植物園

「絶滅危惧植物の多様性解析と保全に関する研究と教育活動」

JPR 論文賞

Best Paper Award

Akitoshi Iwamoto, Daisuke Satoh, Masahiko Furutani, Shinichiro Maruyama, Hideaki Ohba and Munetaka Sugiyama

Insight into the basis of root growth in *Arabidopsis thaliana* provided by a simple mathematical model.

JPR 119: 85-93 (2006)

Best Paper Award

Masahiro Hasegawa, Tetsukazu Yahara, Akiko Yasumoto and Mitsuru Hotta

Bimodal distribution of flowering time in a natural hybrid population of daylily (*Hemerocallis fulva*) and nightlily (*Hemerocallis citrina*)

JPR 119: 63-68 (2006)

Most-Cited Paper Award

Kouki Hikosaka

Interspecific difference in the photosynthesis–nitrogen relationship: patterns, physiological causes, and ecological importance

JPR 117: 481-494 (2004)

16:00～17:00 平成 19 年度日本植物学会学会賞受賞講演

16:00-16:20 千原光雄

「藻類の多様性と分類に関する研究」

(井上 勲先生による千原光雄先生のご業績のご紹介)

16:20-17:00 大隅良典

「細胞内リサイクルシステム ―オートファジーの研究の進展―」

その他の受賞講演は以下の会場で行います。

奨励賞

今泉(安楽)温子 (農業生物資源研)

「根粒菌及び菌根菌の感染受容を司る共通シグナル伝達経路の解析」

9月8日(土) B会場 13:15-13:45

上田貴志 (東京大・院・理)

「植物における小胞輸送の分子機構と高次機能発現における役割の研究」

9月8日(土) B会場 13:45-14:15

澤 進一郎 (東京大・院・理)

「シロイヌナズナとイネを用いた空間認識と細胞分化に関する分子機構の解析」

9月8日(土) B会場 14:15-14:45

若手奨励賞

門田康弘 (理研 植物科学センター 植物免疫研究チーム)

「病害ストレス、活性酸素ストレスに対するタバコ培養細胞 BY-2 の防御反応誘導機構における Ca^{2+} シグナル伝達系の役割と細胞周期依存性」

9月7日(金) H会場 10:30-11:00

朽名夏麿 (東京大・院・新領域)

「顕微鏡画像処理法の新規開発による液胞の立体構造と動態の解析」

9月7日(金) H会場 11:00-11:30

西田敬二 (立教大・理・極限生命情報研究センター)

「原始紅藻におけるミトコンドリア分裂機構の解析」

9月7日(金) H会場 11:30-12:00

日本植物学会第71回野田大会公開講演会

「利根川水系の恵みと植物」

日 時：2007年9月9日（日）13時30分-17時00分

場 所：東京理科大学野田キャンパス 薬学部13号館1311教室（S会場）

- 13:30-13:35 はじめに
 加藤雅啓（国立科学博物館植物研究部）
- 司会 門田裕一（国立科学博物館植物研究部）
- 13:35-14:05 利根川・江戸川の歴史的経過
 -古東京湾から利根川東遷を経て現在まで-
 市川幸男（国土交通省国土交通大学校；関宿城博物館）
- 14:05-14:35 利根川流域の地場産業
 平山忠夫（キッコーマン国際食文化研究センター）
- 14:35-15:05 利根運河の生態系
 田中利勝（利根運河の生態系を守る会）
- 15:05-15:15 休憩
- 15:15-15:45 奥利根の自然と植物
 大森威宏（群馬県立自然史博物館）
- 15:45-16:15 利根川支流に生きる湿地の絶滅危惧植物
 小幡和男（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）
- 16:15-16:45 霞ヶ浦における湖岸植生の再生
 西廣 淳（東京大学大学院農学生命科学研究科）

JPR120 周年記念公開シンポジウム (B 会場) (9 月 8 日 9 時 00 分～12 時 30 分)

日本植物学会誌 JPR 創刊 120 周年記念公開シンポジウム

「21 世紀の植物科学を展望する」

オーガナイザー 西谷和彦 (東北大)

第一部 基調講演

座長：伊藤元己 (東京大・総合文化)

9:00 2aSB1 ダーウィン仮説から考える進化の行方ー進化ゲノム学入門ー

清水 健太郎 (チューリヒ大・理)

コメンテーター 西山智明 (金沢大 学際科学実験センター)

座長：朽津和幸 (東京理科大・理工)

9:40 2aSB2 ゲノムズベース作物戦略 ー人類共存の基盤を作るー

白須 賢 (理研 植物科学研究センター)

コメンテーター 芦荻基行 (名古屋大・生物機能開発利用研究センター)

座長：村岡裕由 (岐阜大・流域圏科学研究センター)

10:20 2aSB3 生態系の構造・機能を衛星生態学で読み解く

ー地球環境時代の生態学ー

小泉 博 (岐阜大 流域圏科学研究センター)

コメンテーター：久米 篤 (富山大・理)

第二部 パネルディスカッション

11:00～12:30 社会は植物科学に何を期待しているのか、或いは、していないのか？

座長：和田正三 (基礎生物学研究所)

パネリスト：米山正寛 (朝日新聞社科学グループ)

小川祐二郎 (読売新聞社科学部)

森 美樹 (NHK制作局)

詫摩雅子 (日経サイエンス編集部)

JPR120 周年記念公開シンポジウム (S会場)

(9月9日 11時15分～12時45分)

日本植物学会誌 JPR 創刊 120 周年記念公開シンポジウム

「植物の世界に魅せられて」
～若い人たちのための植物学入門～

オーガナイザー 西谷和彦 (東北大)

座長：和田正三

11:15 3S1 なぜ植物を研究するのか

和田正三 (基礎生物学研究所)

11:25 3S2 イチョウの精子発見の意義

長田敏行 (法政大学・IT 研究センター)

12:05 3S3 変わる植物学

塚谷裕一 (東京大・院・理学系研究科／基礎生物学研究所)

非維管束植物のゲノム解読に基づく植物機能の解明

特定領域研究「比較ゲノム」後援

オーガナイザー 福澤秀哉 (京都大学・生命科学研究科)
中山繁樹 (農業生物資源研究所)

9:30 はじめに

福澤秀哉 (京都大学・生命科学研究科)

9:35 1aSA1 緑藻クラミドモナスゲノムから見た光合成と生殖機能

福澤秀哉、山野 隆志、佐竹 知也、藤田 晃光、大西 紀和、小日向 務、
山原 洋佑、辻川 友紀、大和 勝幸 (京都大学・生命科学研究科)

10:05 1aSA2 原始紅藻シズンのゲノム解析-真核生物の基本原理の理解から地球環境生物学への展開

黒岩常祥 (立教大学・極限生命情報研究センター・理学研究科)

10:35 1aSA3 ゼニゴケ染色体の全構造に基づく性染色体の進化様式

大山莞爾^{1,4}, 大和 勝幸¹, 石崎公庸¹, 藤澤雅樹¹, 岡田祥子¹, 中山繁樹², 藤下まり子², 坂東弘樹¹, 淀谷幸平¹, 林紀和子¹, 坂東倫行¹, 蓮見明子¹, 西尾朋久¹, 坂田亮子¹, 山本昌幸¹, 八巻 新¹, 西出 拓¹, Seung-Hyuk Choi¹, 新井 理³, 小原雄治³, 河内孝之¹, 福澤 秀哉¹

(¹京大・院・生命科学, ²農業生物資源研, ³遺伝研, ⁴現・石川県立大・生資工研)

11:05 1aSA4 ヒメツリガネゴケとイヌカタヒバのゲノム配列情報から明らかになった陸上植物の発生遺伝子進化様式

長谷部光泰 (基礎生物学研究所)

11:35 総合討論

中山繁樹 (農業生物資源研究所)

花成から花序・花芽形成へ

日本植物形態学会共催シンポジウム

オーガナイザー 小野道之 (筑波大院・生命環境科学)
荒木 崇 (京大院・生命)
米田好文 (東大院・理)

座長：小野道之 (筑波大院・生命環境科学)

9:30 1aSB1 シロイヌナズナの花成：茎頂におけるイベント
荒木 崇、大門靖史 (京大院・生命)

9:55 1aSB2 シソの花成と DNA メチル化
竹能清俊、近藤 洋 (新潟大院・自然科学)

10:20 1aSB3 リンゴの花器官形成に関わる遺伝子の解析
和田雅人 (農研機構・果樹研)

座長：荒木 崇 (京大院・生命)

10:45 1aSB4 アサガオの花成誘起と花芽形成
小野道之、新井祥子、佐々木隆太、草間真智子、鎌田博、
小野公代 (筑波大院・生命環境科学)

11:10 1aSB5 イネの花序形成-花芽の数はいかに決定されるのか-
経塚淳子 (東大院・農)

11:35 1aSB6 シロイヌナズナ花序形態の制御
米田好文、山口暢俊、鎌田直子、鈴木光宏 (東大院・理)

細胞壁構築・制御機構の新展開 ～植物の高次機能における細胞壁の役割～

オーガナイザー
本瀬宏康 (東大・総合文化)
岩井宏暁 (筑波大・生命環境)
石井 忠 (森林総研)

- 13:00 はじめに
岩井宏暁 (筑波大・生命環境)
座長：本瀬宏康 (東大・総合文化)
- 13:05 1pSA1 ペクチン-ハウ素架橋形成関連遺伝子の形態形成における役割
岩井宏暁、酒井慎吾、佐藤 忍 (筑波大・生命環境)
- 13:30 1pSA2 ペクチン多糖アラビナンの機能と生合成機構
石井 忠 (森林総研)
- 13:55 1pSA3 細胞壁構築におけるシロイヌナズナ SHV3 とそのパラログの役割
林 晋平、平山隆志 (横浜市大院・国際総合、理研)
座長：岩井宏暁 (筑波大・生命環境)
- 14:20 1pSA4 GPI アンカー型タンパク質の細胞壁形成における役割
本瀬宏康 (東大・総合文化)
- 14:45 1pSA5 形態形成とストレス応答におけるリグニン生成の役割と分子機構
徳永順士、佐藤康 (愛媛大院・理工)
- 15:10 1pSA6 花茎の形態形成と細胞壁関連遺伝子
横山隆亮、西谷和彦 (東北大)
- 15:35 おわりに～総合討論
石井 忠 (森林総研)

バイオマス資源をいかに有効利用するか ～植物機能を最大限に引き出すために～

共催：東京理科大学総合研究機構再生工学研究センター

オーガナイザー 島田浩章 (東京理科大・生物工)

- 13:00 はじめに
島田浩章 (東京理科大・生物工)
- 13:05 1pSB1 イネ種子の貯蔵物質生合成を決める鍵因子の解明
島田浩章 (東京理科大・生物工)
- 13:30 1pSB2 組換え植物を用いた生分解性プラスチックの生産
松本謙一郎 (北大・生物機能高分子)
- 13:55 1pSB3 植物におけるカドミウム耐性と吸収能-ファイトレメディエーションへの
応用
吉原利一 (電力中研)
- 14:20 1pSB4 バイオマス生産性に関わる量的形質の解析とQTL育種
矢野昌裕 (農業生物資源研・QTLゲノム育種研究センター)
- 14:45 1pSB5 農業現場の視点からみた植物機能の利用
林 浩昭 (くにさき農業協同組合)
- 15:10 1pSB6 農林水産バイオマス研究の展開方向
井手 任 (農水省農林水産技術会議事務局)
- 15:35 総合討論

光合成色素の多様性と生態系

オーガナイザー 三室 守 (京大・地球環境学堂)

- 13:00 はじめに-シンポジウム(企画)の目的
三室 守 (京大・地球環境学堂)
- 13:05 1pSE1 光合成色素の多様性と生態系での意義
三室 守 (京大・地球環境学堂)
- 13:35 1pSE2 クロロフィルの多様性と代謝系研究の新しい流れ
田中 歩 (北大・低温研)
- 14:05 1pSE3 光エネルギー供給のバランス維持は生態系で役に立つか
園池公毅 (東大・新領域)
- 14:35 1pSE4 衛星による海洋での第一次生産性の評価モデル
笹岡晃征 (海洋研究開発機構)
- 15:05 1pSE5 藻類の光合成色素系とシステムの進化・退化
村上明男 (神戸大・内海域環境教育研究センター)
- 15:35 総合討論

藻類学・プロテオストロジーが招く植物科学

オーガナイザー 石田健一郎、稲垣祐司 (筑波大・院・生命環境)

- 13:00 1pSF1 一次植物における elongation factor (EF)-like 遺伝子の侵入・EF-1 α 機能乗取り
稲垣祐司 (筑波大・院・生命環境)
- 13:20 1pSF2 海洋における有機物の動態に与える微生物食物網のインパクト
柴田 晃 (東大・海洋研)
- 13:40 1pSF3 ボルボックス胚の形態形成運動「インバージョン」の分子メカニズム
豊岡博子、石田浩一、西井一郎 (理研・フロンティア)
- 14:00 1pSF4 そんなのアリ？藻類の変てこな光センサーたち
松永 茂 (総研大・院・先端科学研究科)
- 14:20 1pSF5 ミドリゾウリムシと共生クロレラの細胞内共生成立機構
児玉有紀、藤島政博 (山口大・院・理工)
- 14:40 1pSF6 葉緑体へのタンパク質輸送シグナルの多様性
平川泰久、石田健一郎 (筑波大・院・生命環境)

植物トランスクリプトーム解析の最前線

オーガナイザー 関 原明 (理研 PSC)

9:00 はじめに

関 原明 (理研 PSC)

座長：関 原明 (理研 PSC)

9:05 2aSE1 small RNA の生成から細胞質での翻訳抑制まで
渡辺雄一郎 (東京大学)

9:35 2aSE2 花成制御におけるクロマチン因子 LHP1 (TFL2) の役割
後藤弘爾 (岡山県生物科学総合研究所)

10:05 2aSE3 トランスジーン由来 siRNA によるサイレンシングとクロマチン修飾
岡野陽介、島本 功 (奈良先端大)

座長：渡辺雄一郎 (東京大学)

10:25 2aSE4 葉緑体におけるアンチセンス RNA
西村芳樹^{1, 2}、内宮 博文^{1, 3}、David B. Stern²
(¹東大・分生研、²Cornell University、³岩手生工研)

10:45 2aSE5 タイリングアレイ、454 シーケンサーを用いた乾燥・低温・塩ストレス応答時のシロイヌナズナ全ゲノムトランスクリプトーム解析
関 原明¹、松井章浩¹、金 鍾明¹、石田順子¹、中嶋舞子¹、諸澤妙子¹、川嶋真紀子¹、佐藤将一¹、藤 泰子¹、栗原志夫¹、神沼英里²、遠藤高帆²、望月芳樹²、小林 紀郎²、豊田哲郎²、篠崎一雄³ (¹理研 PSC 植物ゲノム発現研究チーム、²理研 PSC 機能開発研究グループ、³理研 GSC オミックス情報統合化研究チーム)

11:15 2aSE6 ヒメツリガネゴケを用いた多能性幹細胞化におけるヒストン修飾動態とトランスクリプトーム
倉田哲也¹、程朝陽¹、宮脇香織¹、豊田敦²、藤山秋佐夫^{2,3,4}、西山智明⁵、長谷部光泰^{1,4,6} (¹JST ERATO、²理研、³情報研、⁴総研大、⁵金沢大、⁶基生研)

11:45 おわりに

長谷部光泰 (基生研、総研大、JST ERATO)

シアノバクテリアの多様性とゲノム

オーガナイザー 池内昌彦 (東京大・総合文化)
坂本敏夫 (金沢大・自然)

- 9:00 はじめに
池内昌彦 (東京大・総合文化)
- 9:05 2aSF1 最近のシアノバクテリアのゲノム研究と環境応答システム
池内昌彦 (東京大・総合文化)
- 9:30 2aSF2 有用シアノバクテリア *Spirulina* のゲノム解析
藤田信之¹、藤澤貴智¹、大森正之² (¹製品評価技術基盤機構、²埼玉大・院・理工)
- 9:55 2aSF3 植物内生細菌エンドファイトのゲノム解析
金子貴一 (かずさ DNA 研)
- 10:20 2aSF4 陸棲シアノバクテリアの極限環境耐性機構
小池裕幸 (兵庫県立大・院・生命理学)
- 10:45 2aSF5 陸棲シアノバクテリアの遺伝的多様性
坂本敏夫 (金沢大・自然)
- 11:10 総合討論
指名討論者 岡本 忍 (かずさ DNA 研)
藤田祐一 (名古屋大・生命農学)

地衣類共生藻と光合成

オーガナイザー 岩崎郁子 (秋田県立大・生物資源)

9:00 はじめに

岩崎郁子 (秋田県立大・生物資源)

座長：佐藤和彦 (兵庫県立大・院・生命理学)

9:05 2aSH1 地衣共生藻 研究の重要性

山本好和、原光二郎、小峰正史 (秋田県立大・生物資源)

9:35 2aSH2 乾燥への多様な適応：共生藻独特の超高速エネルギー散逸機構

伊藤 繁¹、小村理行¹、岩崎郁子² (¹名古屋大学・院・理、²秋田県立大・生物資源)

座長：山本好和 (秋田県立大・生物資源)

10:05 2aSH3 地衣成分による共生藻の光合成活性抑制

遠藤 剛、高萩敏和、佐藤文彦 (京大・院)

10:35 2aSH4 地衣と共生光合成生物における乾燥

佐藤和彦、小杉真貴子、小池裕幸 (兵庫県立大・院・生命理学)

11:05 2aSH5 地衣類 共生ラン藻のニトロゲナーゼ

鈴木英治¹、大森正之² (¹秋田県立大・生物資源、²埼玉大・院)

11:35 総合討論

岩崎郁子 (秋田県立大・生物資源)

シンポジウム (I 会場)
00 分)

(9 月 8 日 9 時 00 分~12 時

植物における C/N バランス研究の新展開 〜C/N バランスの実態と調節メカニズム〜

オーガナイザー 寺島一郎 (東大・院・理)

9:00 はじめに

寺島一郎 (東大・院・理)

9:05 2aSI1 植物の高 CO₂ 応答 : C/N バランスでどこまで説明できるのか

彦坂幸毅 (東北大・院・生命科学)

9:35 2aSI2 高 CO₂ 条件での落葉広葉樹葉の C/N と被食防御

小池孝良 (北大・院・農学)

10:05 2aSI3 イネの生産性と C/N バランス、Rubisco による CO₂ 固定から収量まで

牧野 周 (東北大・院・農学)

10:35 2aSI4 糖センサーと C/N バランス—発芽後成長の制御機構

佐藤 長緒, 前川 修吾, 池田 亮, 山口 淳二 (北大・院・先端生命科学)

11:05 2aSI5 C/N バランス制御の進化 シアノバクテリア、コケ、高等植物

小俣達男 (名大・院・生命農学)

11:35 おわりに

射場 厚 (九大・院・理)

指名コメンテーター : 舘野正樹 (東大・院・理・日光植物園)

シンポジウム (J会場)
分)

(9月8日 9時00分～12時00分)

第四紀における日本列島フロラの成立過程 ～Refugiaはどこに?～

植物分類学関連学会連絡会共催シンポジウム
後援 総合地球環境学研究所プロジェクト5-3

オーガナイザー 藤井紀行 (熊本大・院・自然科学)
菅原 敬 (首都大・牧野標本館)

- 9:00 シンポジウムの趣旨説明
藤井紀行 (熊本大・院・自然科学)
- 9:05 2aSJ1 第四紀の環境変化と植生変遷
百原 新 (千葉大・園芸)
- 9:35 2aSJ2 化石花粉からみた最終氷期最盛期における日本列島の植生と Refugia
高原 光 (京都府立大・院・農学)
- 10:05 2aSJ3 高山帯こそが重要な Refugia
～第四紀の気候変動と日本列島 高山植物の分布域変遷の歴史～
池田 啓 (京都大・院・人環、日本学術振興会特別研究員 DC1)
- 10:35 2aSJ4 温帯林構成種についての系統情報を用いない複数種比較による考察
岩崎貴也 (首都大・牧野標本館、日本学術振興会特別研究員 DC1)
- 11:05 2aSJ5 植物とそれに付く植食性昆虫の DNA 多型にもとづく照葉樹林の分布変遷
青木京子 (京大・院・人環、日本学術振興会特別研究員 PD)
- 11:35 総合討論
コメンテーター 湯本貴和 (総合地球環境学研究所)
梶田 忠 (千葉大・理・生物)